

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年5月26日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	経営学部経営学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2026年5月27日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校(日本語名) 英語(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	3、4年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月下旬 2 学期: 1月下旬～5月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	9200人
創立年	1976年

留学費用

留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 158 円)	B 日本円	備考
授業料	\$ 0	0 円	交換型のため免除
宿舍費	\$ 16,000	円	
食費	\$ 2,500	円	
図書費	\$ 200	円	
学用品費	\$ 20	円	
携帯・インターネット費	\$ 300	円	
現地交通費	\$ 150	円	(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$ 500	円	MLB 観戦、ブロードウェイ鑑賞など
旅費(留学中)	\$ 2,000	円	メキシコ、カナダ、ロサンゼルスなど
被服費	\$ 30	円	大学パーカー
医療費	\$ 0	0 円	
保険費		11 万円	形態: 明大サポート
渡航旅費		23 万円	
ビザ申請費		5 万円	
雑費	\$ 200	円	寝具、洗剤など
その他	\$ 0	0 円	
その他	\$ 0	0 円	
合計 ※現地通貨 および 円	\$ 21,900 (=342 万円)	円	
総計(A+B) ※円		381 万円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：東京羽田 目的地：ニューヨーク EWR 経由地：デトロイト

復路 出発地：ニューヨーク JFK 目的地：東京羽田 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：デルタ航空 料金：11 万円

復路 航空会社：日本航空 料金：12 万円 ∴合計：23 万円

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： Sky Scanner)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Dolphin Cove) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からの案内

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

同居人とのルール決めが重要。Wi-Fi が弱かったり、空調が効かなかったり、シャワーのお湯が出ないなどあったがフロントに相談すれば直してくれるのでためらわず言いに行くべきだと思う。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

たびレジなどで危険区域には近づかないようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本は繋がるが不安定な時はゲストwi-fiに接続するか学校ではwi-fiが充実しているので問題ない。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本はクレジットカードを使用していたが友だちと遊んで割り勘の時は現金を使っていた。現地で口座は作っていない。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本は調達できるがキャンパスからアジアスーパーが遠く値段も高いので日本食やお箸など持っていくべきだと思う。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
ANT100 Understanding Our Worlds		文化人類学
科目設置学部・研究科	Anthoropology	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Dr Joy Mampilly	
授業内容	人類の進化	
試験・課題等	二つのテスト 30%×2 と一つのレポート 30%プレゼンテーション 10%	
感想を自由記入	毎回手書きでノート一枚で次の授業の予習のまとめを作らないといけないなど課題がたいへんではあったがついていけた。先生はインド出身なので訛りが激しいがゆっくりなのでついてはいける。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
MUS105 World Music	世界の音楽
科目設置学部・研究科	Music
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Joseph Kaminski
授業内容	世界の音楽を地域ごとに鑑賞して特色を理解する。
試験・課題等	授業ごとのリアクションペーパーと最終レポート一つ
感想を自由記入	世界の古代の伝統音楽が多く取り上げられておりこの授業以外でそのような音楽に触れる機会がなかったのでとても興味深かった。先生も優しいので質問も答えてくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BUS105 Sustainable Business & Society	持続可能なビジネスと社会
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に115分が2回
担当教授	William Dubovsky
授業内容	持続可能なビジネスや社会を実現するために企業が果たすべき役割などを学ぶ。
試験・課題等	課題レポートが4回と対面テストが7回
感想を自由記入	先生は優しく日本のことについても取り上げられることが多いと思う。そして対面テストもパソコン上でのテストなので取り組みやすい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BUS238 Ethical Issues in Business and Society	ビジネスと社会の倫理的問題
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	秋学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に115分が2回
担当教授	Prof. Stumacher
授業内容	企業や社会が抱える倫理的問題についてどのように対処すべきかを議論していく。
試験・課題等	中間・期末テスト一回ずつ各30% プレゼン30% 出席10%
感想を自由記入	先生が優しく学生を気を遣ってくれていた。テストは前半は持ち込み不可のテストだが事前に勉強しておくべき場所を指定してくれているので容易である。後半は持ち込みありの論述試験を中間期末各一回ずつ行う。プレゼンもしやすい空気作りをしてくれたのでしやすかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BUS200 Introduction to International Business	国際経営学入門
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	春学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に200分が1回
担当教授	Dan Zhang
授業内容	多国籍企業など国際的な経営の繋がりを学ぶ
試験・課題等	授業後の課題40%4回のテスト60%
感想を自由記入	各回の課題が多く大変だが、きちんと予習や教科書を参照すれば問題なく取り組むことができる。アメリカ側からの日本企業の評価などを知ることができて興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
BUS215 Information Management	情報経営論
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	春学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に200分が1回
担当教授	Ziyi Xu
授業内容	サイバー関連やAIなどの技術を経営にどのように応用するかを学ぶ。実際にスプレッドシートやデータの読み取り演習も後半にある。
試験・課題等	毎回の小テスト40% 出席20% ノート20% 課題20%
感想を自由記入	前半座学後半は演習といった形式なので実際に学んだことを定着しやすい。また外部スピーカーの講演を聞く会も設けられることもあるため興味深いテーマを実際のAI技術に携わっている人から聞くことができ良い学びになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
MGT320 Organizational Behavior	組織行動論
科目設置学部・研究科	Business
履修期間	春学期
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に115分が2回
担当教授	Dr Bonner
授業内容	企業内の組織に置ける人間の行動を体系的に理解する。
試験・課題等	3回のオンラインテスト30% レポート一回30% パワーポイント課題30% LinkedIn登録5%出席5%
感想を自由記入	自己実現のための就職する企業選びの基準をこの授業で感じる事ができた。先生も優しく学生に質問を投げかけながら授業をしていくスタイルだった。進路に悩んでいたり就活を考えている人へ受講を勧める。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	IEITS 受験 学内選考
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	留学準備
	8月～9月	留学開始秋学期
	10月～12月	秋学期中間期末テスト
留学/帰国年	1月～3月	冬休みと春学期スタート
	4月～7月	中間期末テストと帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がアメリカ合衆国そしてニューヨーク市立大学スタテンアイランド校を留学先として選んだ理由は大きく二つあります。第一に多様なバックグラウンドを持つ学生が集まる環境で学びたいと考えたからです。ニューヨークは世界中から人が集まる都市であり実際に大学内でも様々な国籍や価値観を持つ学生と交流する機会が多くありました。授業内外で意見交換をする中で自分の当たり前が相手にとっては当たり前ではないことを実感し多角的な視点を持つ重要性を学ぶことができました。第二に英語を実践的に使う環境に身を置きたかったからです。授業だけでなく日常生活や課外活動でも英語を使う機会が多く自分から積極的に行動することで語学力を伸ばすことができました。

これから留学を志す学生に伝えたいことは完璧な英語力がなくてもまずは積極的に行動することが大切ということです。実際に留学生活では自分の言いたいことがうまく伝わらず悔しい思いをする場面も多くありました。しかし黙っては相手に何も伝わらず関係も広がりません。間違いを恐れず自分から話しかけたり意見を発信したりすることで周囲との関係が深まり、結果として語学力も向上していくと感じました。

また授業以外の活動にも積極的に参加することをおすすめします。私は大学内で開催されているイベントやクラブに参加し多くの現地学生と交流することで異文化理解を深めることができました。そしてかけがえのない友達をそこで作ることができました。イベントや交流会は自分の視野を広げる貴重な機会になるためぜひ積極的に参加してほしいと思います。

さらに留学前の準備も非常に重要だと感じました。特に資格勉強や現地情報の収集、履修計画などは早めに進めておくことで現地でより余裕を持って生活することができます。特に私は資格勉強の時間が1ヶ月ほどしかなくもっと早く準備しておけば良かったと感じる部分もあったため事前準備には時間をかけることをおすすめします。

留学生活は楽しいことだけではなく言語や文化の違いから苦勞する場面もあります。しかしその経験を乗り越えることで自分自身の成長を大きく実感できる貴重な機会になります。ぜひ失敗を恐れず多くのことに挑戦し自分なりの学びや経験を得てほしいと思います。